



川口本町4丁目 第一種市街地再開発事業

愛称「**キャメリア**」

キャメリアとは、ラテン語でツバキ科の植物を示し、川口市の木「山茶花」が、ツバキ科の常緑小高木のことであること、また呼びやすく親しみやすい言葉であることから一般公募作品の中から選ばれました。

地区の概要

当地区は、JR川口駅東口から約300mに位置し、南側は本町通り線、南側は市道中央第79号線に接する、川口市民病院跡地とその周辺を含む、約0.9haの地区です。

事業の目的

市街地再開発事業により、良質な都市型住宅の供給と商業・業務施設及び公共公益施設の再配置と導入を行い、市民生活の向上、地域経済の活性化を図りながら、土地の合理的かつ健全な高度利用を実現します。

市道の拡幅等の公共施設整備を行い、安全で潤いのある市街地形成を図ることを目的とします。

整備方針

1. 公有地の有効活用

市民病院跡地という貴重な市有地を生かし、市民にとって公益性の高い魅力的な有効活用を図ります。

2. 都市景観の形成

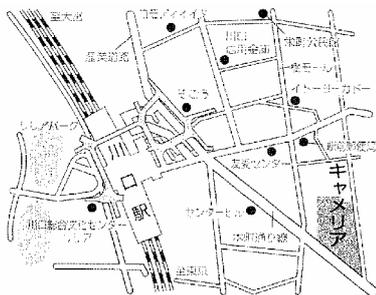
川口の中心部を通る本町通り線に美しく活気に溢れたまち並をつくり都市景観の形成を図ります。

3. 都心居住の促進

都市が活力を持続するために商業や業務の力を高めるとともに、生活の場として快適に住み続けられる環境をつくります。

4. 民間と公共の連携

民間と公共の施設の融合を図り、住宅施設と公共公益施設を有機的に配置することにより、都心の活性化に貢献する質の高いまちをつくります。





施設の概要

施設内容	住宅施設 301戸 (分譲 275戸) 商業業務施設 中央ふれあい館 4,168㎡ 駐車施設 (住宅用等含む) 165台
構造・規模	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地下1階、地上30階
敷地面積	約 7,250㎡
建築面積	約 4,900㎡
延べ床面積	約 43,350㎡
容積率	約 449%
建物高さ	99.7m

事業の経緯

昭和60年12月	「市民病院跡地を考える会」勉強会発足
平成4年2月	市民病院近隣再開発協議会
平成8年7月	川口市本町4丁目地区市街地再開発準備組合設立
平成11年6月	埼玉県住宅供給公社と「参加組合員予定者に関する覚書」
平成12年1月	都市計画決定
平成13年1月	川口本町4丁目地区市街地再開発組合設立認可
11月	権利変換計画認可
平成14年4月	工事着工(工期:28ヶ月)
平成16年7月	工事完成(7月31日)

